

中国絵画の内と外

宮崎法子（実践女子大学教授） 著

本体価 15,000 円＋税

A 5判上製函入 本文 752 頁 口絵 8 頁 ISBN 978-4-8055-0878-7 C3071 2020 年 2 月刊行

「……（中略）……女性と社会という視点から、伝統社会における絵画を考え直し、中国の文人山水画が、単なる絵画の一ジャンルを越えて、中国伝統文化の本質を表象し、その社会と深く関わる存在であったことを、確信するようになった。」

（「結び」より抜粋）

本書は、斯界の第一人者である著者の中国絵画史研究の集大成というべき、二部構成の論文集である。第一部では中国絵画とそれを取りまく世界との関係を、主題と社会の相関、ジェンダー、日本との比較、近代における研究史やコレクション形成など、多彩な観点から読み解き、第二部は、宋代から清代までの、道釈図や山水画など多岐にわたる作例について、絵画表現という豊かな情報を、関連文献資料を援用しながら詳細に検討する。

第一部 中国絵画をめぐる世界

第一章 山水、人物、花鳥の主題と社会

- 一 女性の消えた世界
- 二 中国山水画の内と外
- 三 中国における女性描写の展開
- 四 花鳥画の役割と意味
——藻魚図、蓮池水禽図、草虫画にみる寓意を中心に
- 五 歳寒三友と四君子

第二章 中国文化圏のなかの日本——非対称の文化交流

- 一 伝統中国からみた日本美術——非対称の視線
- 二 明代蘇州の園林文化とその伝播——呉派別業図から大名庭園へ
- 三 日本伝来の作品からみる明代の「偽好物」

第三章 近代における中国絵画

- 一 日本近代における文人文化熱とその消長
——財閥の美術蒐集を軸に
- 二 日本近代のなかの中国絵画史研究
- 三 桑名鉄城の訪中と「安晚帖」の伝来について
- 四 『吉祥図案解題』と野崎誠近
- 五 中国美術の近代

第二部 作品の世界を読む

第一章 宋元時代の道釈画と人物画

- 一 伝裔然将来十六羅漢図考
- 二 山西省の寺観壁画——北宋から元まで
- 三 静嘉堂文库美術館蔵「十王図・二使者図」について
- 四 交差する視線——宮中図を中心に
- 五 「清明上河図」の過去と現在——今後の研究に向けて

第二章 宋元時代の花鳥画と山水画

- 一 崔白「双喜図」について
- 二 元「花鳥図」(オーストラリア国立ヴィクトリア美術館蔵)について
- 三 上海博物館蔵「西湖図」巻と北京故宮博物院蔵「西湖草堂図」巻について
- 四 南宋宮廷絵画における文人意識
——画院画家の二つの画風について
- 五 「瀟湘臥遊図巻」から趙孟頫へ

第三章 明清時代の絵画

- 一 呉派初期の別業図——沈周「東莊図」冊を中心に
 - 二 「韓熙載夜宴図」と明代江南人物画
仇英山水画の展開
 - 日本伝来の浙江地方の墨戯との関連を中心に
 - 五 董其昌山水画における実景
——「婉孌草堂図」を中心に
 - 六 八大山人の甲戌(一六九四)年
 - 七 石濤と「黄山図巻」
- 結び
初出一覧／あとがき

【著者略歴】

宮崎法子 (みやざき・のりこ)

実践女子大学教授

東京大学文学部美術史学科卒、同大学院美術史学専攻博士課程中退、京都大学人文科学研究所助手(その間、北京・中央美術学院に留学)、三重大学文学部助教授(その間、ハーバード大学招聘研究員)を経て、現職。主要著書に『世界美術大全集 東洋編8 明』(責任編集・著、小学館、一九九九年)、『花鳥・山水画を読み解く』(角川学芸出版、二〇〇三年、ちくま学芸文庫、二〇一八年)など。

関連書籍

中国山水画史研究

—奥行き表現を中心に—

河野道房 著

本体価 12,500 円+税

東アジア美術の中心である中国の山水画の展開と歴史を、奥行き表現を中心に作品史・言説史の両面から考察。漢代から魏晋南北朝時代にかけて成立した山水表現、それらが唐代から北宋にかけて確立した山水画にどのように変化していくのかを明らかにする。

A5 判上製函入 本文 408 頁 口絵 8 頁
ISBN 978-4-8055-0799-5

唐宋山水画研究

竹浪 遠 著

本体価 28,000 円+税

唐墓壁画、敦煌壁画、国内の絵画工芸意匠など幅広く作品を取り上げ、豊富な文献史料とともに特にその主題面に注目して唐宋山水画との関連性を捉え、唐宋変革期における山水画の発展要因や画風変遷、描写内容などについて解明する独創的な研究成果である。

B5 判上製函入 本文 472 頁 口絵 16 頁
ISBN 978-4-8055-0736-0

【第7回(平成30年度)三島海雲学術賞受賞】

北宋絵画史の成立

塚本麿充 著

本体価 28,000 円+税

中国社会を成立させる最も根源的な制度であった「文物」の存在と機能の意味を問い、交流史を結節点に形や意味が変容していく過程を総体的に捉え、中国絵画の金字塔である北宋絵画史の成立について「文物」という観点と北宋の社会的文脈から解釈する画期的論考。

B5 判上製函入 本文 720 頁 口絵 8 頁 挿図 400 点
ISBN 978-4-8055-0758-2

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVYビル 6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

お取り扱い